

議会だより

あまが丘

No.215

平成30年4月20日

発行：愛知県大口町議会



特集 平成30年度一般会計予算
インフラ整備に重点配分

2~5

一般質問 地域自治組織 今後の行政区との関係は
ごみ減量 生ごみのたい肥化の拡大を

12

14

議会報告会を開催(中小口・余野)

18

3月6日
大口中学校 卒業式

一般会計
予算

インフラの整備

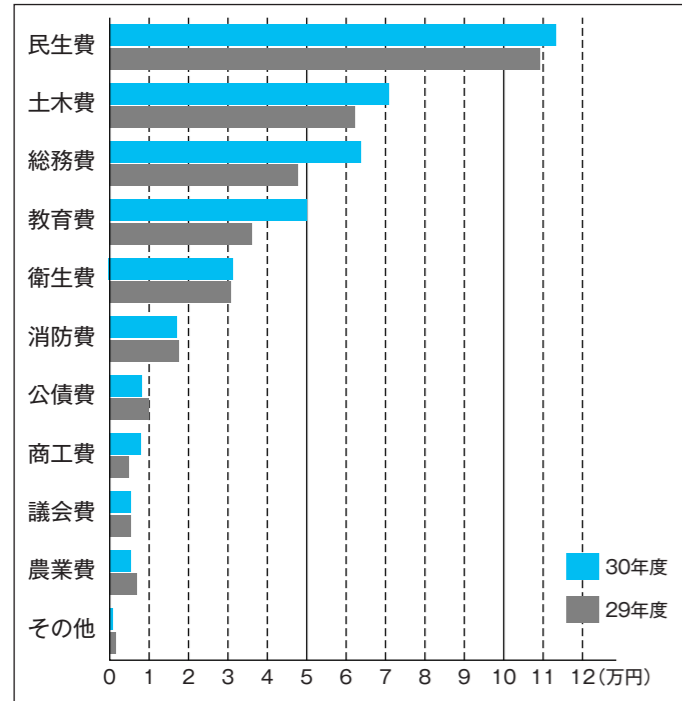


図3 町民1人当たりに使われるお金(目的別)
※人口を24,000人で算出

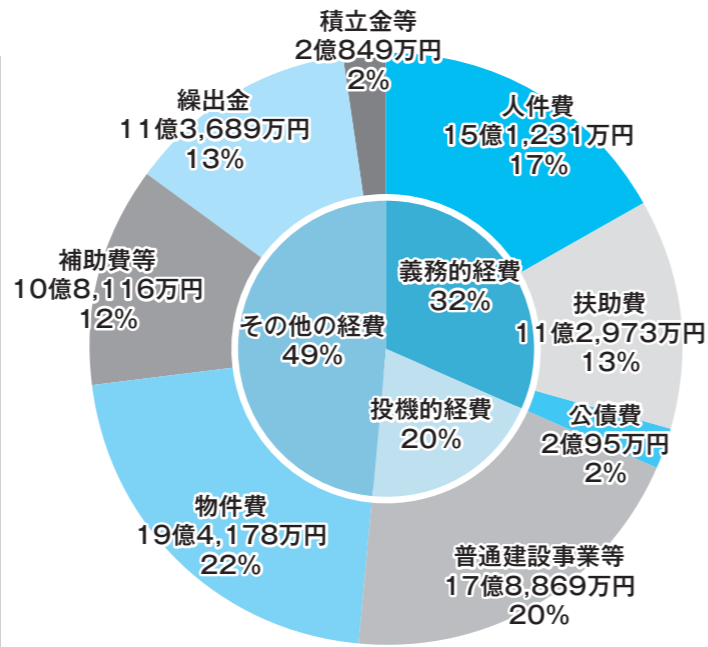


図2 一般会計歳出 90億円 (性質別)

- 扶助費 法令に基づき被扶助者に支出される経費(福祉手当、児童手当など)
- 物件費 賃金、旅費、委託料、交際費などの消費的経費
- 補助費等 各種団体への補助金や交付金など
- 繰出金 基金や他の会計に出すお金

歳出を性質別にみると、義務的経費の人件費、扶助費、公債費(借金返済)は32%です。この比率が低いほど、町独自の施策展開に余力があると判断されます(昨年度は35%)。投資的経費の普通建設事業は、道水路等の生活基盤整備や将来に向けた施策経費です。(図2)

歳出(使いみち)

町民一人当たりに使われるお金では、民生費の割合が最も高い傾向が続いています。前年度と比較すると、役場庁舎の空調・照明設備改修工事により総務費が増加、町民会館屋根等改修工事により教育費が増加しています。(図3)

特別会計
予算

会計名	30年度	前年度比較
国民健康保険	20億8,600万円	▲4億3,265万円
介護保険	11億2,541万円	▲3,092万円
公共下水道	11億1,257万円	1億4,524万円
後期高齢者医療	2億8,458万円	1,683万円
土地取得	4,876万円	78万円
農業集落家庭排水	3,206万円	97万円
国際交流	571万円	▲147万円
社本育英	118万円	▲561万円
計	46億9,627万円	▲3億683万円

※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

充実に重点配分!

表1 町税予算額 (▲は減額を表す)

税目	30年度	前年度比較
個人町民税	13億9,600万円	2,300万円
法人町民税	8億3,610万円	▲2,200万円
固定資産税	28億7,566万円	9,200万円
その他	2億3,240万円	▲490万円
合計	53億4,016万円	8,810万円

- ここがポイント!
- ①固定資産税 家屋の新築、工場等の新增設に伴う償却資産の増加により、9200万円の増額を見込んでいます。
 - ②個人町民税 給与の緩やかな上昇により2300万円の増額を見込んでいます。

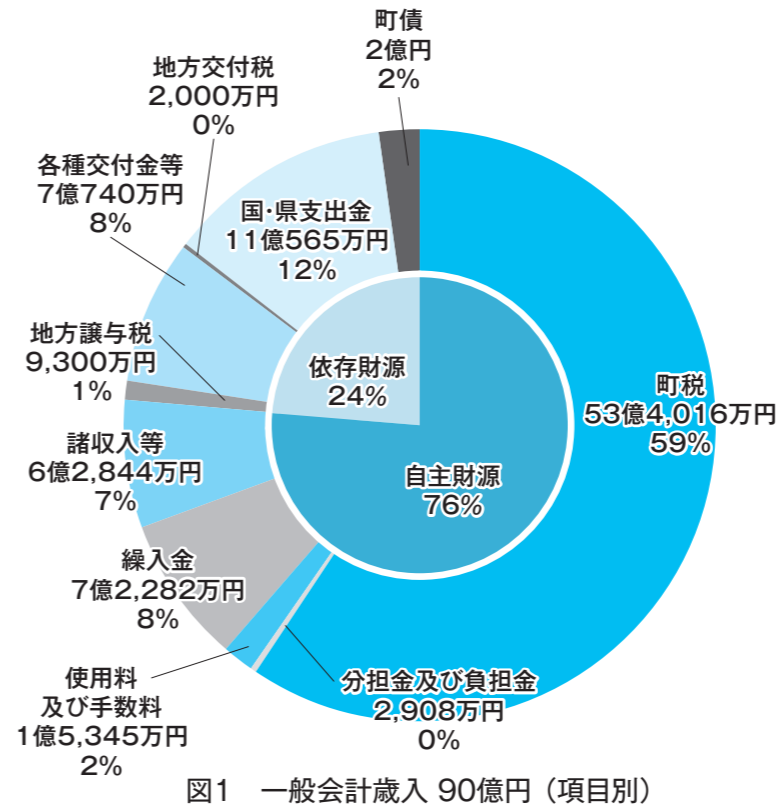


図1 一般会計歳入 90億円 (項目別)

- 自主財源 町が自主的に調達できるお金
- 依存財源 国や県から交付されるお金
- 繰入金 基金や他の会計から入ってくるお金
- 国庫支出金 特定事業財源として、国から交付されるお金

歳入90億円のうち、町が自主的に調達できる町税や諸収入などの「自主財源」は全体の76%と比較的高く、引き続き健全な状態が続いています。しかし、本町の重要な財源である法人町民税は、

歳入(財源)

【町税の状況】：歳入の60%、収入の柱。町税全体では約8800万円(1.7%)の増収を見込んでいます。町税は、景気の変動や制度改正の影響を受ける法人町民税に比例して増減する傾向があります。法人町民税の推移をみると、平成29年度当初予算では増収を見込んだものの、平成30年度当初予算では減収に転じています。固定資産税は町税全体の半分以上を占め、安定した財源として町の財政基盤を支えています。(表1)

予算90億円 対前年度比12.5%増

インフラの整備

(生活・産業基盤)

新規事業



柿野橋架替え工事の詳細設計
2794万円

老朽化による橋の改築に向け、
設計業務を委託



総合運動場のナイター設備改修工事
2899万円

生産・輸出入の制限のため
交換できなくなる水銀灯を
LEDに改修



町民会館の屋根等改修工事
2億9707万円

屋根、外壁等の雨漏り箇所の
改修の他、空調設備や音
響設備等を更新



学共の空調機を取替え等工事
1954万円

河北(空調機)・下小口(照
明のLED化)・余野(2階トイ
シの男女分離)

充実

継続事業



都市計画道路 役場前線整備工事
5435万円

役場の東側にある防災倉庫
前から給食センターの西の
交差点までを整備



多世代が集う憩い広場公園整備工事
(旧北小学校跡地 約1.27ヘクタール)
9600万円

多世代の集いの場、非常時の
災害用空地として活用できる
広場。30年度末に完成予定



保育園の給食主食代無料(H22~)
幼稚園の主食代相当分補助(H23~)
小中学校の給食半額補助(H22~)

3月議会で決まったおもな内容

3月定例会を、2月28日から3月23日までの24日間の会期で開催しました。

○町提出(35議案) 部設置条例の改正、都市公園条例の改正、平成29年度の一般会計・特別会計補正予算、平成30年度の一般会計・特別会計当初予算など

採決の結果

【賛成多数で可決】 国民健康保険条例の改正、平成30年度の一般会計当初予算など6議案
【全会一致で可決】 部設置条例の改正、消防団条例の改正、平成29年度の一般会計補正予算、平成30年度公共下水道事業特別会計予算など29議案

○請願 採択の結果 【採択】 0件 【不採択】 2件

3月臨時会を、3月30日に開催し、税条例の改正ほか1議案が賛成多数、国民健康保険税条例の改正のほか、1議案が全会一致で可決しました。

賛否などについては議会ホームページをご覧ください。

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の改正

消防団条例

町消防団員に支給する報酬及び費用弁償を見直す。

問 団員の報酬をどう見直すのか。

答 年間報酬を減額し、火災への出勤や夜警の従事等、1回ごとの活動実績に応じた手当を増額する。

問 報酬を上げた方が、団員になろうとする人が増えるのでは。

答 何も活動していないのに高額な報酬をもらうより、活動することにもう方が理解を得やすいのではと考えた。

国民健康保険条例

国民健康保険の広域化に伴うもの。

問 病気予防に取り組んでいるにも関わらず医療費が増え、保険税が上がるのは理解しづらい。

答 医療費水準が高い傾向で続いているが、平成

23年度以降、保険税率を据え置いてきた。財政調整基金、一般会計の法定外繰入れにより激変緩和に対応。

国民健康保険税条例

将来に渡って安定した国民健康保険の運営等のため税率等を改正する。

問 保険税率は毎年度、改正するのか。

答 国保の財政運営上、毎年度、改正が必要となる場合がある。

介護保険条例

介護保険法等の改正、第7期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の策定に伴うもの。

問 介護保険料を増額する理由は。

答 介護報酬の改定分、認知症や在宅医療介護連

携など地域支援事業の充実分、介護給付費の増加を見込んだため。

平成29年度一般会計補正予算

「新図書館の整備」

問 「新しい図書館を」の声もあるが、今後の方向性は。

答 平成30年度も引き続き、「人が集まる空間づくり」の検討を継続。

平成30年度一般会計当初予算

「古来種さくら育成」

問 開花時期がソメイヨシノと違うと聞く。五条川の風景が変わらないか。

答 平成28年度から苗木の培養を開始。当初予定の31年度の植樹に向け、準備を進めている。植樹の場所、時期、本数等は今後検討。



満開の桜は町民の心の風景

〔固定資産税の評価替え〕

問 平成30年度は評価替えだが、固定資産税の状況は。

答 速報値によると、税収は、土地は微増。家屋は工場の新・増設や住宅の新築で増。償却資産も工場の新・増設に伴い増を見込む。

〔木造耐震改修〕

問 県の新年度予算では補助の上限が90万から100万円に改正になるが。

答 先進的な計画を策定している市町村が対象。今後、町で策定する計画が県に認められれば、年度途中でも補助要綱を見直して対応したい。



かごにはカラスも手が出せない様子

〔カラス対策〕

問 有効な対策はないのか。

答 ごみ収集車のルートを回り、被害を調査した結果、曜日や時間帯によるが、カラスによるごみの散らかしを27件把握。現在、試行的に9個のかごを7か所に設置し、今後、有効性を検証する。

〔道路整備での交通安全対策〕

問 道路幅員が広がるのはよいが、交通量も増える。信号などの交通安全対策は。

答 信号機や右折帯の設置は、公安委員会と協議しながら進めている。

〔民生委員の活動の見直し〕

問 民生委員のなり手不足への対策は。

答 委員8人で民生委員活動検討会を立ち上げ、現在の活動の洗い出し、見直しを検討。今後、必要に応じ、関係団体とも話し合いながら活動のスリム化を目指す。

〔赤ちゃん訪問〕

問 出産後の「赤ちゃん訪問」の状況は。

答 毎年、200人程度出生。各家庭を保健師又は助産師が訪問し、赤ちゃんの成長には父母の食生活が大切と伝えている。

〔総合健康診断(人間トック)の申込み〕

問 申込みから締切りまでの期間を延ばせないか。

答 医療機関との調整で、診断期間が近隣市町より早めになっている。新年度予算のため周知を早められない面もあるが、今後、検討する。

〔中学校の渡り廊下の改修〕

問 渡り廊下に雨風が入らないよう、対処できないか。

答 最近の短時間豪雨は、現状の排水能力を超えている。雨で廊下の床がめくれたり、教室に入ってきたりするのを防ぐため、改修方法を検討しながら設計する。



廊下の改修も学習環境の改善の一つ

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

8議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

- 江口昌史 防犯カメラの設置補助金制度を P10
子育て支援 子育て関連の窓口にワンストップの仕組みを
- 船戸光夫 空き家対策 条例制定で「管理意識」を高めては P11
- 鈴木義彦 地域自治組織 今後の行政区との関係は P12
健康づくり 運動に無関心な層の掘り起しを
- 柘植 満 「エンディングノート」(私の生き方ノート)の作成を P13
学校教育・図書館 LLブックの設置を
- 大竹伸一 ごみ減量のみえる化 ごみ収集袋の不可燃物混入を減らす対策は ... P14
生ごみのたい肥化の拡大を
- 吉田 正 高齢者の医療費自己負担に補助を P15
国保の値上げは中止せよ
- 酒井正宗 自転車通学の生徒への指導・教育は P16
公共下水道 整備完了後の使用料は
- 岡 孝夫 国道155号村中高架橋の通行止め 本町にとって影響は大きい。何らかの解決策は ... P17
侵入盗の犯罪件数が倍増 県内70市区町村中、昨年がワースト2だが

請願

3月定例会に提出された2件の請願は、所管の常任委員会審査後、本会議にて不採択としました。

・国民健康保険税の増税に反対する請願
吉田 正 紹介議員 支部長 江幡満世志

・介護保険1号被保険者の保険料の値上げに反対する請願
(賛成少数で不採択)
吉田 正 紹介議員 支部長 江幡満世志

定例会で賛否の分かれた議案

他の町提出29議案は全員賛成で可決 ○=賛成 X=反対

議案名	議員名										結				
	吉田	船戸	江口	酒井	鈴木	大竹	齊藤	柘植	伊藤	丹羽		宮田	丹羽	木野	倉果
国民健康保険条例の一部改正	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険税条例の一部改正	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険条例の一部改正	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計予算	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度国民健康保険特別会計予算	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度介護保険特別会計予算	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(議長は裁決に加わらないため空白)

賛否が分かれた6議案の討論要旨は左のとおりです

反対討論 吉田 正
国保の都道府県化は、医療費削減のための競争で市町村が順位付けされる。制度はよくなるどころか、悪くなるばかり。

賛成討論 鈴木義彦
法改正により、県が財政運営主体として町と国保運営を担い、国保の安定化を図るものが必要。

反対討論 吉田 正
医療費は年々増加しており、税率の見直しは必要。被保険者に急激な負担にならないよう配慮もされている。

賛成討論 鈴木義彦
法改正により、県が財政運営主体として町と国保運営を担い、国保の安定化を図るものが必要。

賛成討論 大竹伸一
厳しい財政状況の中、道路整備や企業の誘致、支援、子育て施策の取り組みなど、財源を適切に配分した予算編成がされている。

反対討論 吉田 正
基金約1億5千万円を原則どおり全額取り崩せば、保険料は少ない値上げにとどまらず、保険料の階層を細分化し、低所得者の負担を軽くすべき。

賛成討論 伊藤 浩
基金の取り崩しや一般会計からの繰入金金の増額で急激な保険料の増加に配慮。医療費の適正化に向けた取組みも強化されている。

反対討論 吉田 正
基金は3年間の予算を平準化させるもので、本来の目的に沿った活用を。利用者や被保険者の負担増にならないよう、介護従事者の処遇改善の責任を国に対し求めるべき。

反対討論 吉田 正
国保は子ども数が増えるほど税が高い。所得だけで保険料が決まらない不公平を解消するのが先決。国の負担を増やすよう求める。

賛成討論 鈴木義彦
国民健康保険税条例の一部改正

賛成討論 酒井正宗
第7期高齢者ほほえみ計画は、高齢者の福祉施策を推進するもので適切。介護報酬の増額等を考慮している。

反対討論 吉田 正
学校給食費の半額補助等、子育て支援は評価。

反対討論 吉田 正
法定外繰入金を増額した一方、被保険者にも負担増を求め、子どもの均等割の軽減は見送った。国保税率は、毎年改正しなければならなくなる。

賛成討論 伊藤 浩
総合事業として、通所型サービスを充実する事業や認知症に対する事業も新設。今後の施策展開に期待する。

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

追跡

1年前の一般質問から

宮田 和美 平成29年3月議会

尾北自然歩道の照明灯

問 歩道はジョギングや通勤で利用されているが、早朝は照明灯が消えており暗い。点灯時間を見直せないか。

答 点灯時間の見直しは、防犯面を含め、地元の意見を聞いた上で検討したい。

柘植 満

問 一宮市では、スマートフォンなどでごみの分別区分や収集日を調べられるアプリを導入。町の考えは。

答 平成29年度は、ごみ分別の冊子を作成し、全戸配布するとともに、「ごみ分別アプリ」も早い段階で導入できるよう準備を進める。

一部地域の区長さんに状況を聞き、平成29年11月から、朝5時から6時までの1時間、試行的に照明灯を点灯することとした。

質問者の満足度 笑顔 たっぷり
早朝に散歩する方にも、大変喜んでいただいています。

こうなった

平成29年4月、ごみ分別アプリ「ゴミチェック」を導入し、町HPに掲載。ごみ分別冊子「50音別ごみ分別早見表」を、町広報12月号に折り込み、全戸配布した。

質問者の満足度 笑顔 たっぷり
住民の声が届き、よかったです。



江口昌史

防犯カメラの設置補助金制度を

部長 まずは「人の目」で安全安心を実現したい

江口 防犯カメラは、現在、町内で14台稼働。その効果は、

地域協働部長 犯罪の抑止効果は不明だが、平成29年度、江南警察署から2件の情報閲覧申請があった。

江口 補助金制度で、防犯カメラの設置拡大を。

地域協働部長 町内の35団体の163

7人の方々がパトロール活動を実施。まずは「人の目」による防犯活動で、地域の安全安心を実現したい。

補助金制度は、現行の防犯対策補助金制度の見直しと併せ検討。



交通事故の状況確認で使われることもある防犯カメラ

江口 ドライブレコーダーは「動く防犯カメラ」。公用車すべてに設置できないか。

地域協働部長 30年度、22台に設置予定。職員の安全運転意識の向上、町内の安全確保に努めたい。

船戸 所有者の意向が確認できているのは何件か。

主幹 (以下) 現在、町内で空き家と思われる家屋は103件を把握。

このうち、所有者の方が判明している91件に対し、平成30年1月に意向調査を実施。回答のあった56件のうち、利活用を検討しているのは12件で、ほとんどが売却を検討。

船戸 問題のある空き家とは。

主幹 背丈を超えるような雑草が生い茂っていたり、樹木が敷地外に飛び出しているもの、老朽化で壁がはがれたり、屋根がゆがんでいるもの、

とても人が住めないような状態になっている廃屋など、「建物の安全性の低下」、「公衆衛生の悪化」、「景観の阻害」、「防犯上の問題がある」ものを問題と認識。

江口 魅力ある子育て支援センターに向けた具体的な取組みは、音楽に合わせた体を動かす「親子リズム遊び」、人形劇などの「お楽しみ会」を毎月開催。「子育てコンシェルジュ」が育児の悩みなどの相談を受けたり、関係機関と連携し、虐待防止に繋がっている。

江口 母子通園棟の機能を生かした、今後の療育の考えは。

健康福祉部長 療育の幅を広いため作業療法士等の助言を活用。保育園・幼稚園への就園後の事後フォロー、保健センター等の関係機関と

子育て支援

子育て関連の窓口にワンストップの仕組みを

町長 今後、様々な提案を反映

江口 魅力ある子育て支援センターに向けた具体的な取組みは、音楽に合わせた体を動かす「親子リズム遊び」、人形劇などの「お楽しみ会」を毎月開催。「子育てコンシェルジュ」が育児の悩みなどの相談を受けたり、関係機関と連携し、虐待防止に繋がっている。

江口 子育て関連の窓口が、役場と健康文化センターに分かれている。ワンストップの仕組みを。

町長 相談窓口が複数で、ご迷惑をかけていることは認識。子育ての環境も昔とは変化している。子育て支援センターはできたばかりで、足りない部分がある。今後、様々な提案を反映していきたい。



子育て支援センター(北保育園内)

船戸 すぐにも解体の必要があるのは何件か。また、その対処は。

主幹 4件。第一義的責任は所有者にあるため、文書や電話、直接訪問で、適切な維持管理をお願いしていきたい。

船戸 所有者の意向は。

主幹 4件のうち2件は、家屋を解体してもらう方向で検討を進めている。

船戸 道路に接していない土地に建っている空き家は、解体後、住宅地として利用できないが。

町長 接道のない土地の利用に対しては、まずは、隣接する土地の所有者の方に相談したい。

船戸 所有者に管理意識を持ってもらうため、町の実情に沿った条例を制定しては。

町長 強制的な手法は、地域住民に不安を与え、法的な措置を取らざるを得ない事案も出てくるかもしれないが、まずは所有者の意向を尊重し、できるだけ話し合いにより解決を図りたい。

空き家対策

条例制定で「管理意識」を高めては

町長 強制的でなく、話し合いで解決を図りたい



船戸光夫



空き家問題は大口町も例外ではない(出典:国土交通省)



鈴木義彦

地域自治組織 今後の行政区との関係は 部長 町も一緒に連携体制を考えていく

鈴木 人口減少や高齢化で、地域の担い手不足の深刻化が予想される中、地域自治組織の活動は不可欠。町の対応は、各組織にプロジェクトに職員3名を配置。地域振興課職員が理事会に参加し、活動状況を把握。各種事業は事前に相談・調整しながら進めている。

鈴木 町は今後、従来の行政区との関係をどうしていくのか。

地域協働部長 行政区と地域の連携には、地域差もある。そのため、平成30年度から、試行的に地域自治組織とその地域の行政



中地域まちづくり座談会の様子

鈴木 地域の課題は、土俵が同じでないといく。

鈴木 区を担当する職員を置き、一緒に連携体制を考えていく。

鈴木 地域の課題は、土俵が同じでないといく。町民が暮らしやすさを実感するため、地域と行政が一体となる仕掛けを。

健康づくり

運動に無関心な層の掘り起しを

部長 楽しみながら取り組める事業を啓発する

鈴木 現在の健康づくりに対する取組みは、生活習慣の見直しとして、運動、食生活、歯の健康、たばこ・アルコール、こころの5分野を重点的に取り組んでいる。

鈴木 自分の足で歩くことが、一番簡単な健康づくりでは。

健康福祉部長 自分の足で歩き続けるための体づくりは、認知症予防に繋がる。平成27年度より住民主体の介護予防として地域で始めた「100歳体操」は手足をゆっくり動かし、筋力を鍛えられる。



「いきいき100歳体操」は、おもりを入れたバンドを足首に

鈴木 運動に無関心な層の掘り起しが必要では。

健康福祉部長 健康づくりへの動機づけや健康な生活習慣の定着を促すため、ボランティア

イア活動等をポイント化し、楽しみながら取り組める「健康マイレージ事業」を28年8月から開始。引き続き、健康推進員や企業等と連携し、啓発する。

「エンディングノート」 (私の生き方ノート)の作成を

部長 まずは環境づくり・意識づけから始める

柘植 自分が元気なうち方に、終末期の生き方や葬儀の仕方などを考える人が増えている。もしもの時の備えとして、周囲の人への意思表示として活用できる「エンディングノート」(私の生き方ノート)の作成を。

健康福祉部長 自分の人生をどのように生きる、終わるのかを考えるのは大切なことの一つ。

まずは、その環境づくり・意識づけに重点を置き、町民、関係機関等と検討しながら、研修会などの開催を考えている。



柘植 満



小牧市の「わた史ノート」は7項目について記入(出典:小牧市HP)

学校教育・図書館 図書館にLLブックの設置を 部長 町図書館に、コーナーの設置を検討

LLブック
知的障がいのある方や日本語が得意でない方など、誰もが読書を楽しめるように作られた本。「LL」はスウェーデン語で「やさしく読める」という意味の略。



新座市の図書館にはLLブックのコーナーが(出典:埼玉県新座市HP)

柘植 障がい者が読みやすい「LLブック」を、小中学校の図書館や特別支援教室、町の図書館に設置を。

生涯教育部長 小学校では、ボランティアの先生が想像力、読書の楽しさに触れている。LLブックは新分野の図書。

学校司書や教員と研究し、前向きに検討したい。

町図書館では、障がいのある方のため大活字本を490冊所蔵。LLブックは誰もが読みやすい本。今後、必要に応じ購入し、大活字本と併せ、コーナーの設置を検討する。

【その他の質問】
問 匿名でいじめを相談、通報できるアプリの導入は。



大竹伸一

ごみ減量のみえる化 ごみ収集袋の不可燃物混入を減らす対策は 部長 年間を通し、協力を呼びかける

大竹 江南丹羽環境管理組合の焼却施設も耐用年数が限界に。不可燃物混入による、ごみ収集袋の状況は。平成29年4月から30年1月までに1082袋、1日平均4袋が回収不能。回収不能なごみ袋の処理は。

産業建設部長 翌日には把握。すぐに回収しないが、状況に変化がなければ回収。ごみ袋の中身を確認し、出された方が特定されれば指導、不明な場合は町で分別処理している。

大竹 回収不能なごみ袋の処理は。

産業建設部長 翌日には把握。すぐに回収しないが、状況に変化がなければ回収。ごみ袋の中身を確認し、出された方が特定されれば指導、不明な場合は町で分別処理している。

大竹 不可燃物の混入を減らす対策は。町広報やホームページで周知。今後、広報無線で年間を通し、ごみの分別・減量の協力を呼びかけたい。

産業建設部長 外坪地区で平成23年9月

から11月まで、生ごみたい肥化実験を行ったが、事業実施までには至らず、現在のところ、他の地区では取り組まれている。生ごみ処理施設は多くの経費がかかり、減量はかせない。河北・仲沖・二ツ屋で堆肥化に取り組んでいるが、他地区の状況は。

生ごみのたい肥化の拡大を 部長 成分分析も必要で、今後の課題

大竹 生ごみを燃やすに多くの経費がかかり、減量はかせない。河北・仲沖・二ツ屋で堆肥化に取り組んでいるが、他地区の状況は。

大竹 生ごみを処理後に発酵させ、たい肥として再利用する仕組みは。

産業建設部長 作られたたい肥に化学肥料を加え、肥料たい肥にするには専門的な知識が必要。成分分析も必要で、今後の課題。



生ごみをたい肥化する施設 河北エコ・ステーション

大竹 生ごみ処理施設は町が管理運営。さらなる活用と展開は。

産業建設部長 地区説明会などで、「少しでも可燃ごみを減らしたい」という河北・仲沖・二ツ屋の取組みを紹介している。

高齢者の医療費自己負担に補助を 部長 補助は考えていない

吉田 東京都日の出町は、75歳以上の高齢者に医療費自己負担を補助。本町で実現を。

吉田 日の出町は、18歳以上70歳未満の人のがん治療にも助成。本町の実態を調査し、実現を。

健康福祉部長 本町は医療の生活習慣病、介護予防、保健事業に力を入れており、補助は考えていない。

健康福祉部長 各医療保険での助成制度の他、民間のがん保険等もある。助成は考えていない。

吉田 日の出町は70歳から74歳までの高齢者にも2千円を超える医療費自己負担分を補助。本町で実現を。

健康福祉部長 先の質問と同様の理由で、補助は考えていない。



吉田 正

表1 日の出町（人口1万7千人）のがん医療費助成の推移

年度	24	25	26	27	28
認定者数	178人	222人	160人	176人	180人
助成額	2836万円	3191万円	3228万円	2350万円	2318万円

国保の値上げは中止せよ

部長 保険給付費は年々増加、一定の負担増をお願いする

表2 国民健康保険税と社会保険料との比較
(試算例) 40歳代の夫婦と10歳代の子ども2人。世帯収入は夫の給与所得のみで、固定資産なし。

給与所得金額	平成29年度国保税額	負担率	平成30年度国保税額	負担率	協会けんぽ愛知支部年間保険料	負担率
100万円	134,700円	13.47%	151,100円	15.11%	94,398円	9.44%
200万円	255,100円	12.76%	287,860円	14.39%	178,932円	8.95%
300万円	357,300円	11.91%	404,700円	13.49%	254,060円	8.47%
400万円	423,300円	10.58%	481,700円	12.04%	332,630円	8.32%
500万円	489,300円	9.79%	558,700円	11.17%	402,024円	8.04%
600万円	555,300円	9.26%	635,700円	10.60%	458,800円	7.65%

表3 国民健康保険税の改正前・後の比較
(計算例は表2と同じ)

給与収入	給与所得金額	平成29年度国保税額	平成30年度国保税額	値上げ率
167万円	100万円	134,700円	151,100円	12.1%
312万円	200万円	255,100円	287,860円	12.8%
443万円	300万円	357,300円	404,700円	13.2%
568万円	400万円	423,300円	481,700円	13.7%
689万円	500万円	489,300円	558,700円	14.1%
800万円	600万円	555,300円	635,700円	14.4%
911万円	700万円	621,300円	712,700円	14.7%
1,021万円	800万円	687,300円	789,700円	14.8%
1,126万円	900万円	753,300円	866,700円	15.0%
1,232万円	1,000万円	819,300円	930,000円	13.5%

(役場提出資料を基に作成)

吉田 国保税は、加入する世帯の家族が多いほど均等割が増え、負担が大きくなる。18歳までの均等割は減額すべき。

吉田 国保は、加入する世帯の家族が多いほど均等割が増え、負担が大きくなる。18歳までの均等割は減額すべき。

吉田 国保の値上げを中止すべき。

健康福祉部長 見直しで、医療費分と介護給付費分の平等割は減額。子ども

健康福祉部長 表2のとおり。その比較を提出せよ。

健康福祉部長 平成23年度以後、税率を据え置いてきたが保険給付費は年々増加。すべての被保険者に対し、一定の負担増をお願いする。

「議員の定数と報酬」 議会運営委員会が答申

議会運営委員会は、平成30年2月20日(火)、「議員の定数と報酬」に関する丹羽勉前議長からの諮問(議会だよりNo.210参照)に対し、議会での検討結果を取りまとめ、丹羽孝委員長が宮田和美議長に「議員定数及び議員報酬に関する検討結果報告書」とともに答申しました。

【答申】

議員定数…現状の15人を維持

○議会には、行政に対し、住民の多様な意見の反映や政策の立案、監視機能が求められており、本町議会議員における地域の代表としての活動範囲、常任委員会等の議会運営上の観点から、議員定数は現状の人数が適正であると考えられる。

議員報酬…現状の月額292,000円を維持

○議員報酬は、制度上、職務の遂行に対する対価であり、生活給ではないとされているが、住民の理解のもと、議員がその職責を果たし、今後、住民が立候補する機会や意欲を損わないためにも一定の保障が必要との観点から、議員報酬は現状の月額が適正であると考えられる。

【付帯意見】

- 平成29年7月に実施した「大口町議会に関するアンケート調査」では、全体として住民の町議会への関心が低い傾向がみられ、その結果、議員定数や議員報酬のあり方についても「分からない」との回答が多く寄せられた。
- 今回の答申は、全議員で議論を尽くすとともに、こうした住民の声も踏まえたものである。議員定数及び議員報酬には明確な算出根拠がないため、議会自らの責任において、その方針を示さなければならないが、まずは、住民の議会への関心が高まり、理解が深まらなければ、議会としての説明責任そのものが果たせない。
- 現在、議論が重ねられている「地方議会のあり方に関する研究会」(総務省)や「町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会」(全国町村議会議長会)の検討結果によっては、現行の議会制度の見直しも考えられる。
- 町議会として、議員定数及び議員報酬を含めた議会制度全般について、今後も引き続き議論しながら、住民に対し、議会報告会、議会広報等により、説明していく必要があることを付帯意見とする。



宮田議長(左)に答申書を渡す丹羽孝委員長

「議会の休日・夜間開催」 議会運営委員会が答申

議会運営委員会は、平成30年2月20日(火)、「議会の休日・夜間開催」に関する宮田議長からの諮問に対し、議会での検討結果を取りまとめ、丹羽孝委員長が宮田和美議長に「議会の休日・夜間開催に関する検討結果」とともに答申しました。

【答申】

夜間議会及び休日議会…時期尚早のため開催しない

○夜間又は休日の議会開催は、議会に対する住民の関心の高まりに寄与するものでなければならない。昨年7月に実施した「大口町議会に関するアンケート調査」の結果から、現時点では、本町議会が夜間議会や休日議会を開催した場合の有効性に疑問が残る。そのため、まずは、議会だよりやホームページによる情報発信、各行政区で実施する議会報告会等、現在の取組を着実に進め、住民の議会への関心を段階的に高める方策を優先すべきと考える。

○議会を夜間又は休日に開催した場合の、町執行部の関係職員の時間外勤務手当等、各諸経費の財源は税金で賄われるものであり、会議を開催する以上、本町議会として、傍聴者数の多寡のみにこだわるのではなく、費用対効果を意識する必要がある。

※「答申書」・「検討結果報告書」は、議会HPに掲載しています。

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/3926.htm>



平成30年2月3日(土)・4日(日)、住民の皆さんと議会報告会を開催しました。多くのご参加、ありがとうございました。

「議会アンケート調査結果の概要」と「議員の定数・報酬の検討結果」をテーマに、議員の説明後、参加者からご意見をいただきました。主な意見を紹介します。

なお、テーマ以外で出された町に伝えるべき意見・要望は、議会では対応を調査・検討し、町に伝えました。



中小口地区コミュニティーセンター

議会報告会

【開催場所・時間・参加人数】

- 2/3(土) 中小口地区コミュニティーセンター
午後2時～3時50分 20人
- 2/4(日) 余野学習等共同利用施設
午後2時～3時25分 27人



余野学習等共同利用施設

議会アンケートでの意見

- 現役世代が議員になるのは無理である。
女性の参加を含め検討してほしい。
- 若い人を参加させるために、町や議会は何か取り組んでいるのか。

その他の意見

- 世帯ごとに広報を配布してほしい。
- 10年先の町のビジョンを示してほしい。
- 入鹿用水の用排水を分離してほしい。
- 国道41号トンネル付近の放置ごみを撤去してほしい。
- 大口中学校の学力の状況は。

議員の定数・報酬への意見

- 議員の活動が分からないので、定数や報酬をどう評価してよいか分からない。
- 議員一人ひとりが何をやっているか、見える化をしてもらいたい。
- 議員定数は、近隣市町と比べて大口町は多い。人口割が正しいとは思わないが、1～2名は削減すべきである。検討してほしい。
- 委員会などの人員配置を考えれば15人でよい。

まちの 元気者

おおぐちの 伝統芸能を伝えます

上小口伝統芸能保存会

♪ 上小口伝統芸能保存会の紹介を

私達は、平成18年秋、上小口の獅子屋形改修をきっかけに活動を開始しました。メンバーは、太鼓5人、笛7人の12人です。41歳から86歳まで、幅広い年齢層で活動しています。上小口学供で、毎月第1、第3日曜日の午後7時半から9時まで、練習をしています。

♪ どんな活動をされていますか？

春の金助桜まつり、秋の小口城址公園の伝統芸能発表会、上小口のお祭りなどに、獅子屋形を引き廻し、笛や太鼓の演奏とともに伝統芸能を披露しています。町民・区民の皆様から暖かい拍手やお声をいただいたときは嬉しくなります。NHKのテレビに出演したとき、緊張しすぎて、笛を持つ手が震えていたこともよい思い出です。



演奏で、伝統と世代を繋ぐ

♪ 町や議会に伝えたいことは？

旧北小学校跡地の一角に、野外ステージのような、広く町民が音楽等を発表する場所があれば、もっと観覧者が増え、伝統芸能の継承にもよい環境になると思います。町には、伝統芸能発表会を町内外のメディアへ情報発信の強化をしていただくことを望みます。

取材を終えて

幅広い年齢層を維持し、月2回の練習を継続され、優れた演奏を発表することで伝統芸能を継承しておられる活動に頭が下がります。新旧住民の絆づくりのためにも、いつまでも頑張っていたきたいと思います。(丹羽 孝)

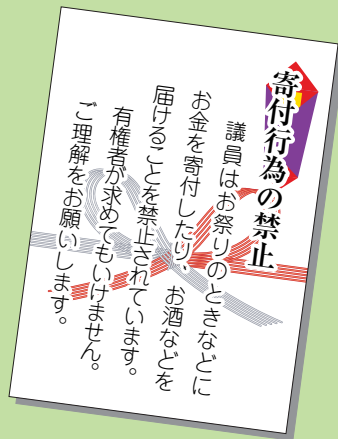


練習で集まった保存会の皆さん

表紙の写真

笑顔で、 新生活へ！

これからは、それぞれの道。
みんなで過ごした日々を胸に、
笑顔で歩き出そう。
また、みんなで会おうね。



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/2741.htm>



みなさん議会傍聴に 来てください

6月定例会予定

- 6月 4日(月) 提案説明
- 6月 6日(水) 一般質問
- 6月 7日(木) 一般質問
- 6月11日(月) 質疑・委員会付託
- 6月13日(水) 総務建設常任委員会
- 6月15日(金) 文教福祉常任委員会
- 6月22日(金) 討論・採決

※開始時刻は、いずれも午前9時30分から。
※日程は、変更になる場合があります。

手続きは簡単です！
役場3階で住所と名前を書くだけ



議長 宮田和
副議長 酒井正
委員 船井孝
委員 岡戸孝
委員 鈴木木
委員 大竹伸
委員 丹羽孝